

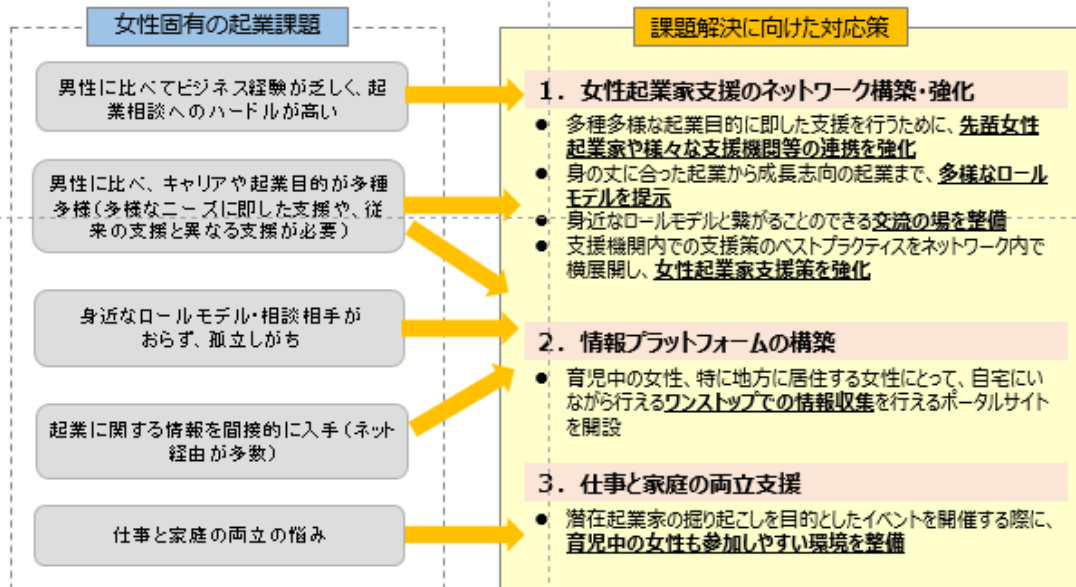
女性起業家等支援ネットワーク構築事業概要

1. 経済産業省「女性起業家等支援ネットワーク構築事業」について

経済産業省では、女性の起業を支援するため、地域の金融機関や産業・創業支援機関等を中心とした女性起業家等支援ネットワークを全国 10 箇所に形成し、様々な支援機関や女性起業家のネットワークが有機的に連携することにより、起業を志すあらゆる段階にいる女性や、事業成長に課題を抱える起業して間もない女性起業家を確実にフォローできる体制をネットワーク内において構築しています（平成 28 年度より実施）。

「起業」により働きたいと考える女性が、少し先いく先輩の姿を見ながら、“わたしらしく働く”ことができるよう、一人一人の女性のキャリア・経験、仕事・家庭との両立、起業目的に合った、伴走型、一気通貫型の支援の実現を目指します。

・ 女性特有の課題に沿った起業を支援することにより、女性の就労を積極的に促進し、働く意欲のある女性が、家庭のみならず地域や職場でも活躍できる社会づくりに貢献する。



平成 29 年度女性起業家等支援ネットワーク構築事業方針資料より

【参考】経済産業省ホームページ

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/joseikigyouka/index.html>

【参考】全国ポータルサイト「わたしの起業応援 net」

<http://joseikigyo.go.jp/>

2. 女性の起業ステージの考え方

女性が起業という働き方を知り、起業を志し、起業を実現し、起業後さらなる成長をはかるという一連の流れを、下記「起業ステージ」に表しました。

従来の起業支援の起業準備段階「ステージ2」より以前の、起業を決意・準備し始める前の段階を「起業ステージ0. 1」とし、女性固有の起業課題が多くこのステージにおける支援の必要性があると考えます。起業という働き方を知りたい、そのためにロールモデルとの出会いや交流、今後の働き方を考えるキャリアカウンセリングも1つの支援と考えます。また、育児や介護との両立を目指す女性に対するサポートも支援メニューの1つと考えます。

また、起業まもないステージを「起業ステージ3」とし、起業後～5年程度としています。女性起業家の1つの特徴として、ライフスタイルにあわせて、小さく事業を開始し徐々に大きく成長していくことがあります。よって、起業後のサポートも重要な支援課題です。

このように起業ステージ0～3を、切れ目なく伴走支援するのが本事業における地域ネットワークの役割と考えます。

【女性の起業ステージ】

ステージ 0	ステージ 1	ステージ 2		ステージ 3	
起業って何？ 私でもできるのかな？ まずは情報集めからスタート！ 一歩踏み出す。	起業してみたいという う想いがあるけど何から どう始めたらよいか 知りたい。	起業にむけて一歩ずつ準備 まずはいろいろ学びたい。 必要な支援・環境を整えたい。	事業プランをつくってみる。 起業に向けて準備をしたい。	わたしらしく事業をしていく 起業～1年未満 スタートアップ	起業後3～5年

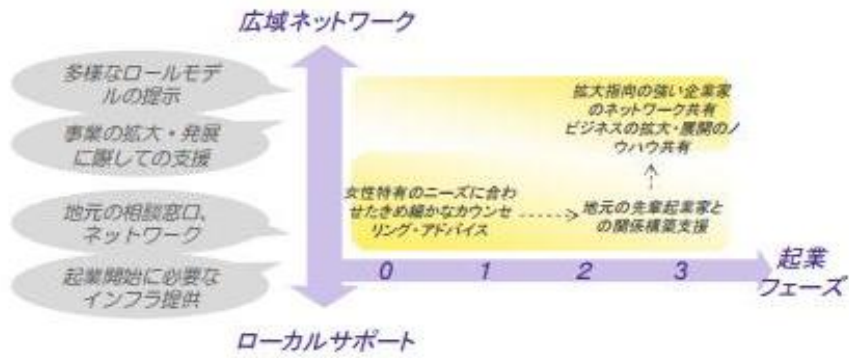
各ネットワーク構成機関による、一連のサポート

3. 広域連携支援について

多様な女性起業家の課題やニーズに応じた支援を行うにあたり、単独の支援機関のみでは対応できないサポートを、地域や支援機関の種別を超えて連携して実施していくことで、女性起業家への多様な支援メニューの提供・機会の提供が可能になります。多くのロールモデルやメンターとの出会い、情報の収集、外部パートナーによる支援や販路拡大の機会など、支援機関が広域に連携するためのネットワー

クを形成、一気通貫の伴走型支援を目指します。

図表 5-3 女性起業家支援の連携に係るイメージ



(資料) EY アドバイザリー株式会社作成

「平成 27 年度 産業経済研究委託事業（女性起業家等実態調査）報告書」より